

教育相談コーディネーターを中心とした チーム学校での **先手型** の教育相談を 推進するために

事後対応的な
教育相談だけでは
望ましい行動に
つながりにくいなあ

先手を打つのが大事な
のはわかるけど、教育相
談コーディネーターとし
て具体的に何をすればい
いの？

もっと子供たちが輝けるよ
うな支援をしたいけど、どん
な実践をするかは担任まかせ
というのが実態…

こんなお悩みはありませんか？本資料では、先手型のチーム学校での教育相談にフォーカスを当て、教育相談コーディネーター（以下、教育相談Co.）が中心となった進め方についてご紹介します。

下記Q1～Q6をクリックして詳細をご覧ください。

[Q1 「チーム学校での先手型の教育相談」って何？](#)

[Q2 教育相談Co.は何をすればいいの？](#)

[Q3 教育相談Co.の職務内容実践上のポイントは？](#)

[Q4 どのように進めればいいの？](#)

[○実践例1 A小学校の取組](#)

[○実践例2 B中学校の取組](#)

※ [実践例に出てくる「年間プログラム」とは？](#)



[Q5 実際にやってみたいのですが？](#)

[○活動計画案](#)

[○活動案 リンク集](#)



[Q6 子供たちはどう変わるの？](#)

本資料は令和4・5年度の福島県教育センター教育相談チームの研究「一人一人の成長を促すためのチーム学校での教育相談」を基に作成しています。
※研究について詳しく知りたい方は「[研究紀要](#)」をお読みください。



「チーム学校での先手型の教育相談」って何？

こんな風感じたことは
ありませんか？

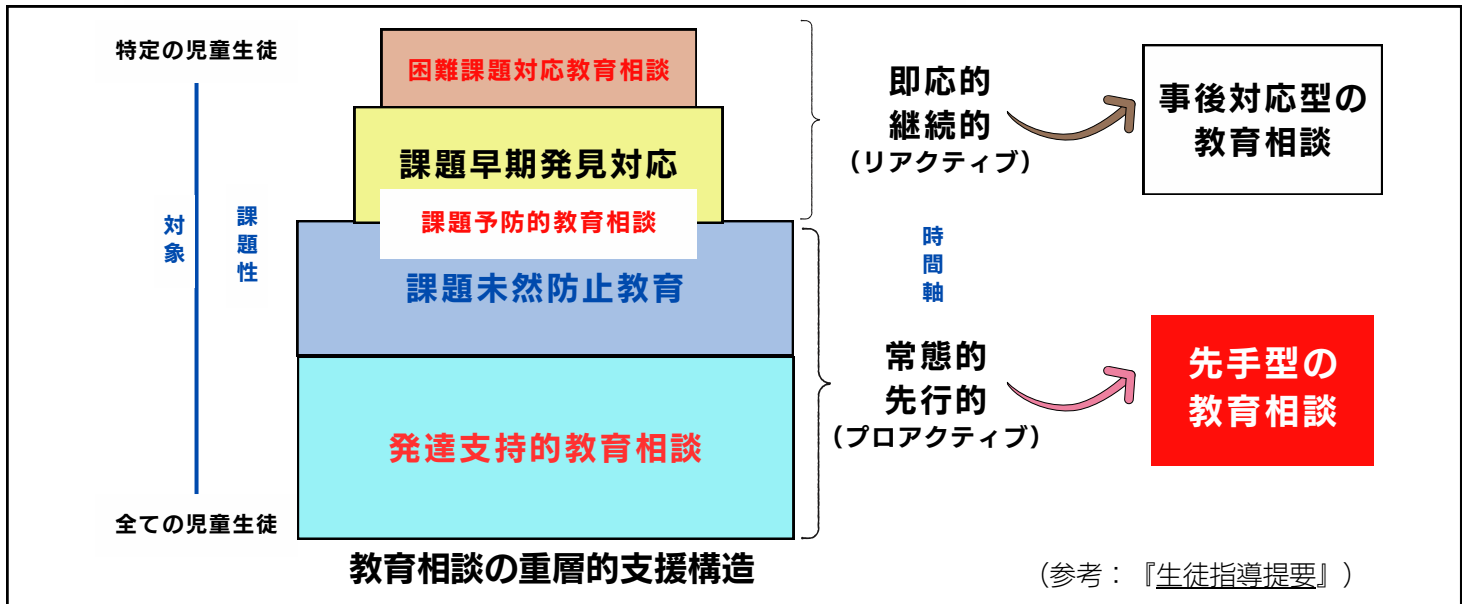


問題行動の指導に
追われて大変…

指導している間に
また別の問題が…

● 「先手型の教育相談」とは

「生徒指導提要」では、事後対応型の即応的・継続的（リアクティブ）教育相談だけでなく、**全ての児童生徒を対象とした、先手型の常態的・先行的（プロアクティブ）教育相談の重要性**が改めて強調されました。（下図参照）



問題行動等が起きるのを未然に防ぐことができたなら、またはその数を減らすことができたなら、**子供たちも先生方もハッピー**ではないでしょうか。

本資料では、常態的・先行的（プロアクティブ）教育相談を「**先手型の教育相談**」として話を進めていきます。

● 「先手型の教育相談」を進めるために

「生徒指導提要」では、先手型の教育相談においても、**全教職員が一致して取組を進めることが必要**であると示されています。

目指す児童生徒の共通理解を基に、全教職員が一丸となり「**チーム学校**」として、継続的に先手型の教育相談に取り組んでいくことができれば、とても効果的なものになるでしょう。そして、その要となるのが**教育相談Co.**なのです。



本資料における「チーム学校での先手型の教育相談」とは

教育相談Co.を中心に全教職員で取り組む、全ての児童生徒を対象にした常態的・先行的(プロアクティブ)教育相談



研究紀要は[こちら](#)

[目次に戻る](#)

教育相談Co.は何をすればいいの？

教育相談CO.の職務内容の例

- 1 SC、SSWの周知と相談受付
- 2 気になる事例把握のための会議の開催
- 3 SC、SSWとの連絡調整
- 4 相談活動に関するスケジュール等の計画・立案
- 5 児童生徒や保護者、教職員のニーズの把握
- 6 個別記録等の情報管理
- 7 ケース会議の実施
- 8 校内研修の実施

すでに困り感を抱えているケースへの対応に関することが多いです。

「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～（報告）」
（教育相談等に関する調査研究協力者会議、2017年）

これまでの教育相談は、どちらかといえば事後の個別対応に重点が置かれていましたが、今後は、事案が発生してからのみではなく、未然防止から再発防止まで一貫した支援に重点をおいた体制づくりが重要です。教育相談Co.も、役割の一つとして先手型の教育相談の実践が求められています。

チーム学校での先手型の教育相談を実践するにはこの3つ！

- 相談活動に関するスケジュール等の計画・立案
- 児童生徒や保護者、教職員のニーズの把握
- 校内研修の実施



教育相談Co.

まずは、ニーズを把握することから始めてみませんか？

運営ビジョン、学校評価アンケート、Q-Uなどから見えてくるかもしれません。

ニーズをもとに、スケジュールや校内研修を計画・立案していきましょう。



研究紀要は[こちら](#)

[目次に戻る](#)

教育相談Co.の先手型の教育相談実践上のポイントは？ どんなことを意識すればいいのでしょうか？

ポイントは
この3つ！



教育相談Co.

全教職員での
共通理解

ねらいの
共有

成果や課題の
振り返り

次の活動へつなげる・教職員同士をつなげる

全教職員の共通理解の下、ベクトルを揃えて
チーム学校での教育相談を進めることができる

全教職員での
共通理解

年度始めの
校内研修で
ベクトルを揃える

ねらいの
共有

折に触れ、
ねらいを可視化・
可聴化し、ベクトルを
揃え続ける

成果や課題の
振り返り

先生方の意見を
反映し、実態に合った
先手型の教育相談
活動にする



研究紀要は[こちら](#)

[目次に戻る](#)

実践例 1 A小学校

チーム学校での
教育相談体制

年間プログラムを隔週で 同じ時間に全校で実施

取組の紹介

取組 I

チーム学校での教育相談をスタートさせる取組

取組 II

年間プログラムを改善につなげる取組

取組 I チーム学校での教育相談をスタートさせる取組

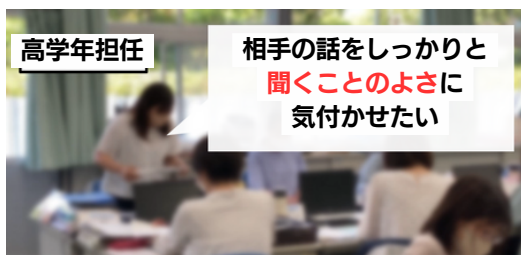


①先手型の教育相談や年間プログラムについて共通理解を
図る校内研修の企画・運営 **【校内研修の実施】**

チーム学校での
教育相談の重要性

年間プログラムの
意義

年度始めに、以上の2点について全教職員で共通理解を
図る校内研修を実施しました。



②育てたい児童の姿の共有

【ニーズの把握】

今年度育てたい児童の姿について、教職員で話し合う場を設定

**「聞く姿を育てたい」
全教職員共通の願い**



③ねらいを明確にした相談活動の計画・立案

【相談活動の計画・立案】

「児童の聞く姿を育てたい」というニーズを基に、「聞く」ことをねらいとした右図のような活動案を作成しました。

項目	実施内容	指導上の留意点
1. 授業の導入	・お楽しみします。ありがとうございます。 ・相手の話を丁寧に聞いて聞く。 ・説明・読みよく聞く	・最初に「えがおまんてん(アドジャン)」を聞いて確認する。
2. 本単元の授業 (15分あたり15分)	今日も「アドジャン」です。 今日のめあては「相手の話を聞いて話す・聞く」です。	・相手の話を聴くことを指導する。 ・すでにできている児童を指導する。
3. アドジャン (15分)	質問時間がありますが、あいさつや相談の時間にはしっかりと相手の話を聞きましょう。	・態度的な反応はほめないことを確認する。

※ 活動案は[こちら](#)をご参照ください

全教職員の共通理解の下、チーム学校での教育相談がスタート！

実践例 1 A小学校

取組 II 年間プログラムの改善につなげる取組



①年間プログラムの改善につなげる校内研修の企画・運営 **【校内研修の実施】**

- ・活動をより児童の実態に応じたものにしたいなあ。
- ・Q-Uの結果を分析したり、活動の成果や課題について共有したりしよう。



教育相談Co.



②年間プログラムの改善につなげるニーズの把握

【ニーズの把握】

上記の研修の中で、その後の改善点となる以下の2つのニーズを全教職員で把握することができました。

よりよい活動にするための
時間設定

関わり合いをねらった
異学年交流

教育相談Co.



③ねらいを明確にした相談活動の計画・立案

【相談活動の計画・立案】

教育相談Co. は、管理職と相談し、業間の時間から朝の時間（月1回）と清掃の時間（月1回）への活動時間の変更を行いました。また、それぞれの時間の活動の内容を以下のように計画しました。

朝の時間 →生徒指導協議会で把握したニーズを基にした活動

清掃の時間→縦割り班を活用した異学年交流

教育相談Co. は、目指す児童像にマッチさせた活動を計画！

A小学校
教育相談Co.
ここが
よかった！

① 年間の取組について全体で共通理解を図る

- ・年度始めや学期末に実施した校内研修で、取組への共通理解を図った。
- ・全教職員が同じ方向を向いた実践につながった。

② ニーズの把握を活動につなげる

- ・毎月行う生徒指導協議会での話し合い等を基に、教職員のニーズを把握した。
- ・定期的に把握した教職員のニーズを、新たな活動の計画・立案へとつないだ。

③ 活動のねらいを共有化する

- ・年間プログラムの活動ごとに活動案を作成し、教職員に配付した。
- ・活動案には活動のねらいを明記したため、教職員は活動のねらいを共有できた。

[目次に戻る](#)

チーム学校での
教育相談体制

年間プログラムを
各学年・学級の時間設定で実施
学期末には学級活動の時間を活用

取組の紹介

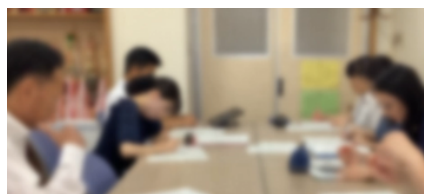
取組Ⅲ

学年のニーズに応じた授業を計画する取組

取組Ⅳ

年間プログラムの改善を図る取組

取組Ⅲ 学年のニーズに応じた授業を計画する取組



教育相談委員会

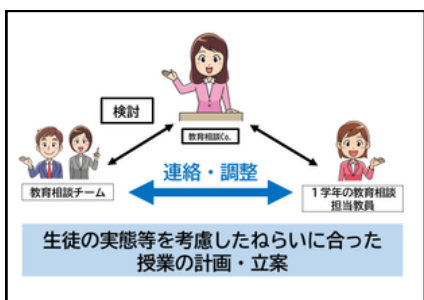
(校長・教頭・教育相談Co.・生徒指導主事・各学年の教育相談担当教員・養護教諭が参加)

①教育相談委員会での振り返り

【ニーズの把握】

隔週開催の教育相談委員会で、年間プログラムの活動や生徒の様子について振り返りました。また、学級活動の時間を活用した授業の内容についても話し合い、以下のニーズを把握しました。

「認め合う」活動を取り入れた授業にしたい
各学年共通のニーズ



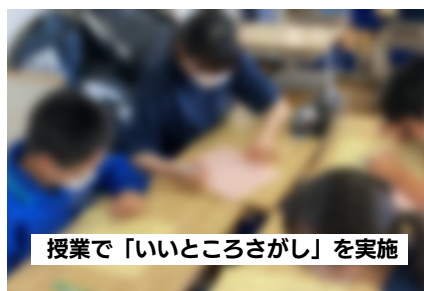
②ねらいを明確にした 授業の計画

【相談活動の計画・立案】

- ・より生徒の実態に沿った授業を実施したいなあ。
- ・教育センターと1学年の教職員が連携できるように、連絡・調整をしよう。



教育相談Co.



授業で「いいところさがし」を実施

③生徒が「認め合う」ことをねらった「いいところさがし」を実施

計画を基に、生徒同士が互いのよさを伝え合う活動に取り組みました。生徒からは以下のような感想が出されました。

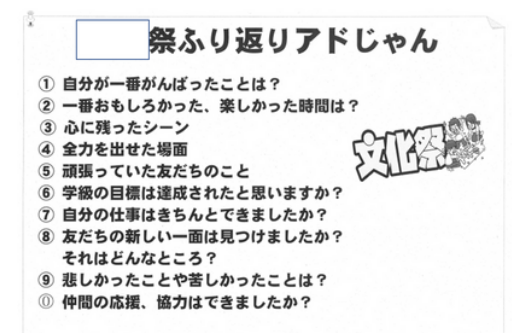
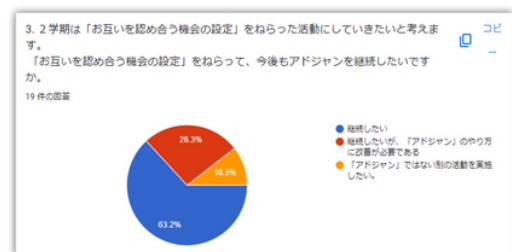
- ・改めて友達の良い所も自分の良い所も知ることができました。
- ・あまり自分の良い所を考えたり、友達に伝えることも無いので今日話し合った事がすごく楽しかったです。
- ・恥ずかしかったけど、うれしかったし、安心しました。

学年のニーズに沿った授業を計画して、実施！

取組Ⅳ 年間プログラムの改善を図る取組



活動を振り返るアンケート



「認め合う」機会をねらった質問項目

①活動の振り返り

【ニーズの把握】

生徒同士のコミュニケーションを図ることを推進するため、学期を通して「アドジャン」（※活動案リンク集参照）を実践してきました。教育相談Co.は、これまでの振り返りを基に活動の改善を図りたいと考え、教職員の振り返りを実施しました。

左記のようなアンケート結果から、新たなニーズを把握することができました。

「アドジャン」を継続したい・他の活動も導入したいという2つのニーズを把握

②ニーズを基にした活動の改善 【相談活動の計画・立案】

把握したニーズを基に、「アドジャン」以外の新たな活動として「いいところさがし」の短縮版を計画しました。

もう一方では、教務主任と協力し、文化祭後に実施する「アドジャン」を、生徒同士が「認め合う」機会を多く取り入れた活動となるように質問項目を工夫しました。

教育相談Co. は、教職員の振り返りを基に活動を改善！



① 年間の取組について全体で共通理解を図る

- 年度始めに取組の意義や活動の進め方についての校内研修を実施した。
- 共通理解を図ったことで、同じねらいや同じ方法での活動ができた。

② 活動の振り返りを改善につなげる

- アンケートソフト等を活用し、年間プログラムの活動の実施状況、成果や課題についての全教職員の振り返りを集約し、活動の改善につないだ。

③ ハブ役として人と人をつなぐ

- 教育相談委員会において、活動の成果や課題を共有し教職員をつないだ。
- 本チームと1学年とをつなぎ、「認め合う」内容の授業を実施した。
- 文化祭後には教務主任と「生徒同士が認め合う」活動を計画・実施した。

実践例に出てくる「年間プログラム」とは？

短時間で実践できるソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターなどを、年間を通して行う活動計画のことです。（活動計画の例は[こちら](#)）

作成の際に
教育相談Co.が
実施すると
よいこと

- 先手を打つことで、成長支援を促し、問題行動の予防につなげる視点をもつ。
- 育てたい児童生徒像や学校の課題を明確にする。
- 実行可能で持続可能な時間の枠組みを、管理職と相談する。
- 年間プログラム実施の意図を全教職員で共有する。

参考図書

- 『誰でもできる!中1ギャップ解消法』
(曾山和彦、教育開発研究所)
- 『10分でできる なかよしスキルタイム35』
(水上和夫、図書文化)
- 『超多忙でも実践できる!スリンプル(スリム&シンプル)・プログラム』
(曾山和彦、ほんの森出版)

小さな変化が
大きな変化を
生み出します!

先生も児童生徒も
楽しくワクワクす
るような計画を!

人間関係構築には、
関わりの**質も量も**
大切です。



研究紀要は[こちら](#)

[目次に戻る](#)

チーム学校で取り組む先手型の教育相談 活動計画案（例）

先手型の教育相談に関する年間プログラム 13:30～13:45（原則月1回清掃の時間）

重点指導：

- ①「他者とかかわる場の設定」（かかわり）
- ②「感情交流やお互いを認める場の設定」（感情・認め合い）
- ③「ソーシャルスキルの『かかわり』の育成」（SST）

活動時の約束事：

- 1 あいさつ
- 2 うなずき（アイコンタクト）
- 3 説明・話をよく聞く

育てたい児童生徒像・
つけたい力を
明確にして共有

月	テーマ・活動名	児童の傾向	重点指導	身に付けたいスキル
4月	出会いの楽しさを味わう 「バースデーチェーン」	新しい出会いに期待膨らむ	①	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に体を向けて話を聞く ・相手に聞こえる声で話す ・いろいろな友達とかかわる
5月	約束を守る・気持ちのよいあいさつ 「あいこジャンケン/ひたすらジャンケン」	運動会 活躍の場増える	①	
6月	かかわる楽しさを味わう 「ネームトス」	目標を見失いがち	①	
7月	1学期をふり返る 「質問ジャンケン（1学期のふり返り）」	夏休み前 落ち着かない	②	
8月	つながる楽しさを味わう 「ぎょうぎジャンケン」	新学期への意欲 生活の乱れ	①②	<ul style="list-style-type: none"> ・友達を褒める ・友達を認める
9月	温かい雰囲気・言葉かけ 「ほめほめジャンケン」	新学期への意欲 生活の乱れ	③	
10月	約束を守る・気持ちのよいあいさつ 「王様あいさつジャンケン」	学習発表会 活躍の場増える	③	
11月	互いのことをもっと知る 「私の好きな〇〇」	目標を見失いがち	②	
12月	2学期をふり返る 「がんばりに拍手」	冬休み前 落ち着かない	②③	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを話す ・相手の気持ちを理解する
1月	みんなで盛り上がる 「トラスタップ」	新年・新学期への意欲	①②	
2月	温かい雰囲気・言葉かけ 「いいところ四面鏡（いいところさがし）」	学習のまとめ 個人差	②	
3月	1年間の成長をふり返る 「アドジャン（1年間のふり返り）」	新年度に向けて期待膨らむ	②	

上記年間活動計画案にリンクされたURLをクリックすると、Google ドライブのマイドライブに、年間プログラムのコピーが作成されます。

[目次に戻る](#)

活動案リンク集



10～15分でできる活動です。活動名からリンクをクリックすると、Google ドライブのマイドライブに、活動案のコピーが作成されます。

右のQRコードからは、教室での説明用スライドが見られます。QRコードをクリックし、リンクをクリックすると、こちらにもコピーが作成されます。ご活用ください。

活動	ねらい
アドジャン	いろいろな友達の情報を集めながら、相互理解を深める。お互いを知り合うことで、教室内の安心感を育む。
<u>あいさつウォーク</u>	気持ちのよいあいさつの仕方について考え、日常でも意識しようとする態度を育てる。
<u>ネームトス</u>	お互いの名前を呼び合う活動を通して、相手を理解し、人との関係性を育むことができるようにする。
<u>ぎょうざじゃんけん</u>	じゃんけんの組み合わせを楽しむ活動を通して交流を図り、仲を深めることができるようにする。
いいところさがし	友達とお互いの良さを伝えあう活動を通して、自分や友達の良さに気付くことができるようにする。
<u>おはようじゃんけん</u>	気持ちのよいあいさつの仕方を確認し、ゲームを通してあいさつの仕方を練習することができるようにする。また、気持ちのよいあいさつのよさを感じることができる。
<u>ほめほめじゃんけん</u>	友達を褒めたり、友達に褒められたりして、互いを認め合うことのよさを感じることができるようにする。
<u>質問じゃんけん</u>	友達と質問し合い、友達のことを知ったり、自分のことを知ってもらったりするよさを感じることができるようにする。
<u>がんばれじゃんけん</u>	友達のがんばりたいことを認めたり、認められたりすることのよさを感じることができるようにする。
<u>あいこじゃんけん</u>	友達と気持ちを合わせることの難しさや、気持ちが合ったときの嬉しさを感じることができるようにする。
<u>聞き方名人になろう</u>	よい聞き方（聞き方のルール）をするとお互いに気持ちがいいことに気づき、よい聞き方（聞き方のルール）を行おうとする態度を養う。
<u>そうですね（小学校 中・高学年向け）</u>	自分が話したことを受容されたり、肯定されたりする心地よさを感じることができるようにする。

チーム学校での先手型の教育相談が充実して 子どもたちはどう変わるの？



協力校の先生方から寄せられた声



異学年で声を
掛け合う姿が
見られる

相手の意見を大切に
する姿が見られる

生徒同士、教師と生徒の
コミュニケーションが
より密になった

行事で、互いを賞賛
したり感謝したり
する姿が見られた

友達のよさを
見つける児童が
増えている

友達の意見を
しっかり聞く姿が
見られる

以前より話し合いが
スムーズになり、
話すことへの抵抗感が
減ってきている

文化祭や委員会などの
場面で、話し合いに臨む
姿勢がよくなった

全学年とも進ん
で挨拶ができる
ようになった

